

視点・論点

6月定例会

6月定例会において、各常任委員会で議論となったものを各委員長がまとめたものです。

総務文教委員会

委員長 ながの 長能 ふみや 文代

六月定例会に付託された五議案はすべて可決された。

春日市公の施設の設定及び管理に関する条例の一部改正では、特に「公の施設の立ち入りの制限」について、市民に対する立ち入りを制限する内容なので、より市民に分かり易い条例にするよう求める意見が出された。

平成二十一年度一般会計補正予算(第一号)では、国の「緊急雇用創出事業」の五議案について、各々の事業の必要性や継続性、雇用創出の目的の明確化などに対する質疑が出され、事業の契約に際しては現に失業中の人を対象に雇用する事などを条件にしている旨の説明を受けた。



総務文教委員会報告

三月定例会で継続審査になっていた「温水プールサークル活動継続に関する請願について」は、閉会中に参考人による陳述の内容も含めて審査した結果、執行部より「指定管理者制度の導入に当たって十分な周知がなされず申し訳なかった。今年度は従来どおりの活動とし、来年度以降については、行政及び指定管理者と各サークルで十分協議していきたい。」などの報告がなされたため、請願の願意は満たされたものとし、議決を要しないものと決した。

市民厚生委員会

委員長 つかもと 塚本 よしひろ 良治

当委員会に付託された、議案二件、請願二件について、審査いたしました。

第五十二号議案「春日市税条例の一部を改正する条例の制定について」及び第五十四号議案「春日市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について」は、地方税法等の一部が改正されたことに伴い、所要の改正措置を講ずるもので、一議案とも全員賛成で可決しました。請願第二号「最低保障年金



市民厚生委員会報告

制度」の創設を求める請願について「は、政府に対して消費税によらない全額国庫負担による最低保障年金制度を創設することなどを要請する意見書を提出することを求められたものです。採決にあたっては、「消費税によらない全額国庫負担というのは、年金制度の財源保障をどうするのか」という部分で賛成できない。」などの反対討論がされ、賛成者なしで不採択となりました。

請願第三号「物価に見合う年金引き上げを求める請願について」は、物価の高騰に見合った公的年金の額を直ちに三%引き上げることなどを要請する意見書を国へ提出することを求められたものです。採決にあたっては、本来過去三年間引き下げなければならぬ給付額を据え置きにしていることや反対討論がされ、賛成者なしで不採択となっております。

地域建設委員会

委員長 まつお 松尾 よしみつ 嘉三

今期定例会において付託された議案は一件であった。「平成二十一年度春日市下水道事業会計補正予算(第一号)について」の補正の内容は、収益的収入として、他会計補助金(市からの持ち出し分)千八百三十二万四千円を増額し、総額二十一億三千九百二十一万七千円に補正するものであります。

委員会では、下水道管渠費の予算だけが突出している理由について質疑がなされ、執行部から、道路新設改良事業に関連しての管渠費の増額補正になっている旨の回答を得た。また、管渠費の補正をしなければならぬ原因は、当初予算編成において道路改良工事予算と下水道会計予算の管渠費の整合性がなかったことによるものであり、今後このようなことがないように予算編成に臨むべきであるとの意見が出された。また、人孔蓋等の日常的な安全点検の徹底と、修繕工事においては交通事故がおきないように十分な配慮をするよう申し添え、全員賛成で原案が可決された。